

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 貿易統計(2009年5月)
～黒字幅はさらに拡大～

発表日 2009年6月24日(水)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 小杉 晃子
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)																	
		貿易収支(億円)				輸出数量				輸入数量							
		輸出金額		輸入金額		アメリカ		EU		アジア		アメリカ		EU		アジア	
		原数値	季調値	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
08	1月	▲ 1063	11227	7.7	9.5	7.7	▲ 3.1	3.4	11.9	0.7	▲ 7.1	▲ 1.7	1.7				
	2月	9358	6328	8.7	10.7	14.3	1.8	8.6	21.7	▲ 1.0	▲ 0.5	0.6	▲ 2.9				
	3月	10962	6540	2.2	11.4	5.9	▲ 3.4	5.5	7.9	4.3	▲ 8.4	2.9	12.5				
	4月	4587	3479	3.9	12.2	7.3	▲ 0.5	3.8	12.2	5.8	▲ 6.2	4.2	5.6				
	5月	3411	4304	3.6	4.8	6.6	▲ 0.4	0.1	10.5	▲ 3.4	▲ 11.0	▲ 7.3	▲ 4.8				
	6月	1041	740	▲ 1.8	16.7	▲ 1.5	▲ 8.6	▲ 8.9	1.1	4.4	11.9	1.9	2.0				
	7月	819	405	7.9	18.2	8.9	▲ 5.3	3.1	12.1	2.2	▲ 1.9	▲ 11.2	0.9				
	8月	▲ 3142	▲ 2611	0.2	17.1	▲ 1.0	▲ 18.9	1.7	2.6	▲ 4.5	1.4	▲ 8.1	▲ 5.2				
	9月	910	▲ 165	1.5	28.8	▲ 0.6	▲ 12.2	▲ 8.1	1.2	6.1	5.0	4.0	9.9				
	10月	▲ 752	▲ 2558	▲ 7.9	7.4	▲ 6.9	▲ 17.4	▲ 10.4	▲ 2.8	▲ 2.4	▲ 18.3	▲ 6.0	1.8				
	11月	▲ 2275	▲ 3324	▲ 26.8	▲ 14.4	▲ 22.7	▲ 28.5	▲ 16.8	▲ 22.4	▲ 10.7	▲ 12.2	▲ 14.8	▲ 8.6				
	12月	▲ 3222	▲ 1330	▲ 35.0	▲ 21.5	▲ 29.9	▲ 31.3	▲ 29.7	▲ 30.7	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 10.6	▲ 5.6				
09	1月	▲ 9560	▲ 4262	▲ 45.7	▲ 31.9	▲ 40.9	▲ 48.6	▲ 42.0	▲ 39.0	▲ 11.7	▲ 22.8	▲ 15.3	▲ 10.7				
	2月	827	▲ 708	▲ 49.4	▲ 43.0	▲ 45.4	▲ 55.5	▲ 45.6	▲ 40.6	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 27.4	▲ 30.8				
	3月	91	▲ 507	▲ 45.5	▲ 36.6	▲ 41.1	▲ 49.5	▲ 49.6	▲ 33.8	▲ 20.4	▲ 22.8	▲ 27.5	▲ 20.7				
	4月	677	817	▲ 39.1	▲ 35.8	▲ 35.9	▲ 49.4	▲ 42.8	▲ 28.8	▲ 20.3	▲ 27.2	▲ 29.7	▲ 18.8				
	5月	2998	2224	▲ 40.9	▲ 42.4	▲ 36.0	▲ 46.9	▲ 40.3	▲ 27.3	▲ 24.0	▲ 34.9	▲ 28.7	▲ 23.3				

(出所) 財務省「貿易統計」

○貿易収支は4ヶ月連続で黒字に

5月の貿易収支は+2,998億円(原数値)と、4ヶ月連続の黒字となり、黒字幅も前月(同+677億円)から拡大した。輸出は、金額(前年比▲40.9%←4月同▲39.1%)、数量(前年比▲36.0%←4月同▲35.8%)ともに前月から減少率は若干拡大したが、これは、5月に円高が進み、輸出物価が低下したことによって押し下げられているほか、昨年と比べて5月は平日が少なかったことの影響が大きいと考えられる。こうした要因を考慮すれば、輸出は引き続き改善傾向にあると判断できる。他方、輸入金額(前年比▲42.4%←4月同▲35.8%)も、原油価格下落の影響により、前月に比べ減少率が拡大した。輸入の減少率が輸出のそれを上回った結果、貿易収支の黒字幅は拡大した。

○欧米向け自動車輸出に底打ちの兆し

輸出の動向を地域別(金額ベース)にみると、ロシア向け(前年比▲88.3%←4月同▲87.0%)、中東向け(同▲47.4%←4月同▲42.4%)は前月からマイナス幅が拡大したものの、ここに来て米国向け(同▲45.4%←4月同▲46.3%)、EU向け(同▲45.4%←4月同▲45.4%)の減少ペースが緩和している。世界的な在庫調整の進展などにより、欧米向け輸出も底打ちの兆しが窺える。また、アジア向けは5月はマイナス幅が若干拡大したが(前年比▲35.5%←4月同▲33.4%)、均してみれば改善が続いている。

品目別でも、自動車の米国向け(前年比▲54.8%←4月同▲70.7%)、EU向け(同▲53.1%←4月同▲58.5%)は前月から減少ペースが緩和しており、自動車輸出の大幅な落ち込みには歯止めがかかりつつある。なお、半導体等電子部品はアジア向け(前年比▲30.9%←4月同▲26.4%)をはじめ、減少率は拡大したが、在庫調整の進展により、足もとでは国内電子部品の出荷・在庫バランスが改善傾向にあることを考えると、均してみれば持ち直し傾向が続いていることに変わりはない。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

○輸入は原粗油、非鉄金属などが押し下げに寄与

輸入は金額(前年比▲42.4%←4月同▲35.8%)、数量(前年比▲24.1%←4月同▲20.3%)ともに、前月から減少率は拡大した。品目別にみると、原粗油(前年比▲63.1%←4月同▲59.1%)などの鉱物性燃料が価格下落の影響で減少が続いているほか、非鉄金属(同▲74.7%←4月同▲55.9%)などの原料品が輸入の押し下げに寄与している。原油価格の下落により、価格面で押し下げられているほか、内需の低迷に伴って、数量面でも減少が続いている。

○先行き輸出持ち直しにより、貿易収支も緩やかに増加していく見込み

5月は昨年に比べ平日が少なかったことや円高の影響もあり、輸出金額のマイナス幅は拡大したが、実質ベースでみると、これまでの海外における在庫調整の進展、中国を中心とした景気対策の効果などにより、改善している。地域別でみても、アジア向けについては改善の動きが一服したもの、欧米向けについては自動車輸出を中心に、ここに来て改善しつつある。

先行きについても、輸出に先行する傾向のある米国 ISM 製造業(新規受注)景気指数などの指標が改善していることから考えて、輸出は今後、増加傾向で推移する可能性が高い。他方、内需の低迷から、輸入は減少が続くだろう。原油価格の上昇には注意が必要だが、貿易黒字は緩やかに増加していく可能性が高い。

